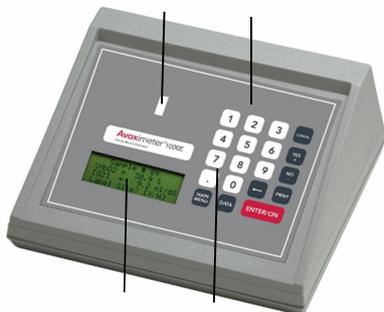


機械器具 17 血液検査用器具
体外検査用オキシメータ 15201000 一般医療機器 特定保守管理医療機器
エーボックス 1000E

【形状、構造及び原理等】

** 製品外観図



番号	名称
	外装 (ABS樹脂)
	テストチャンパー
	液晶ディスプレイ
	データ入力用キーボード

1. 構成

本品は、本体及び本体付属品から構成される。本品と専用カートリッジ(販売名:エーボックス 1000E 専用カートリッジ、製造販売届出番号:13B1X00161000006)を用いて希釈しない全血の総ヘモグロビン濃度[THb]、オキシヘモグロビン[%HbO₂]を分析することができる。更に、その分析結果に基づいて、酸素含量[O₂]、飽和度ステップアップ、10種の血行動態値:体表面積、酸素摂取量、心拍出量又は全身血流量、心係数、1回拍出量、1回拍出係数、肺血流量、全身血管抵抗、全肺血管抵抗、肺体血流比を算出することができる。本品は、これらの結果をディスプレイに表示し、また、専用プリンタ(オプション)を用いて印字することができる。

<付属品>

- ・ ACアダプタ(バッテリー充電器)
- ・ 充電式バッテリー(ニッカド電池内蔵)
- ・ 点検用フィルタ(黄色とオレンジ色)
- ・ プリンタ(オプション)
- ・ 取扱説明書

2. 本体寸法及び重量

- 1) 寸法: W 25.4×L 20.3×H 9.5(cm)
- 2) 重量: 1.8 (kg)

3. 電氣的定格及び分類

- 1) 入力電源: 100 VAC, 50 又は 60 Hz
- 2) 出力電源(充電器): 12 VDC, 830mA
- 3) 電撃に対する保護の形式による分類:
クラス II ME 機器、内部電源 ME 機器
- 4) 電撃に対する保護の程度による装着部の分類: 非該当

4. 動作原理

分光光度法で測定される。

** 5. 電磁両立性 (EMC)

本品は電磁両立性規格(JIS C1806-1:2010)に適合する。

6. 動作環境

- 1) 15~30°C の温度範囲で使用すること。[本品は、カートリッジが常温である場合のみ正確な値を表示するため]
- 2) 風が当たる場所や温度が不安定な場所に設置しないこと。
- 3) 可燃性物質や麻酔薬のある場所で本装置を使用しないこと。

【使用目的又は効果】

本品は、身体から採取した血液検体中の酸素濃度及びヘモグロビンを測定するために用いる光電子装置である。

【使用方法等】

1. Enter/On キーを押して、装置の電源を投入する。
2. 下記の表示がある場合は、装置が分析可能な状態にある。

```
... READY ...  
Insert Cuvette  
Pt. ID: None  
User ID: None
```

3. カートリッジの光路長(pathlength)を入力する。
4. シリンジで検体を採取する。
5. 検体を満たしたシリンジを専用カートリッジ(製造販売届出番号:13B1X00161000006)に接続し、検体を専用カートリッジに注入する。
6. 専用カートリッジを本装置に挿入する。
* 注: 通気用のベントパッチがテストチャンパーの左側になるように挿入すること。[装置の光学部品の汚れを防ぐため]

7. 液晶ディスプレイに次のような結果が表示される。

```
S a m p l e # 1  
%H b O 2 = 9 7 . 0 %  
[ O 2 ] = 1 9 . 8 m l / d l  
[ T H b ] = 1 5 . 1 g / d l
```

8. 分析が終了したら、カートリッジを抜き取る。データは、カートリッジを抜き取るまで液晶画面に表示される。またデータは不揮発性メモリに保存される(500件)。
9. 次の検体を分析する時は、新しいカートリッジを取り出し、上記1~8までのステップを繰り返す。
10. Main Menu キーを押した後、4番の Turn Off、Enter/On キーを押して電源を切る。

【使用上の注意】

重要な基本的注意事項

1. 装置内に血液や水などの液体を入れないこと。
2. カートリッジを本装置の中に入れてそのままにしないこと。分析終了後は、速やかにカートリッジを取り出すこと。
3. 15~30°Cの温度範囲外で保管された場合は、室温への慣らしのための時間(最低1時間)を十分取ってから使用すること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法:
結露させないこと。
2. 有効期間:
本品の耐用期間は5年である。
(自己認証【当社データ】による)

【保守・点検に係わる事項】

1. 使用者による保守点検事項
 - 1) 試験実施前、毎日1回、点検用フィルタを用いた精度管理(OQCテスト)を行い、本品を点検すること。
 - 2) 気温の高い場所から低い場所に移動させた場合、又はその逆の場合は、OQCテストを行うこと。また、本品の性能に疑問が感じられた場合は、随時OQCテストを行い、性能を確認すること。
 - 3) OQCテストに合格しない場合は使用せず、製造販売業者に連絡すること。

取扱説明書を必ずご参照ください。

2. 業者による保守点検事項

- 1) 1年に1回、製造販売業者による定期点検を受けることを推奨する。
- 2) バッテリーは消耗品のため2年に1度交換すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：平和物産株式会社

住所：東京都千代田区丸の内 2-2-1

電話番号：03 (3287) 0731

** 製造業者：Accriva Diagnostics, Inc.
(アクリバ ダイアグノスティックス インク)

製造業者国名：アメリカ合衆国

v01